

長者町アートカフェプロジェクト

講師：上村祐一（リズネット代表）、藤井明子（愛知芸術文化センター愛知県文化情報センター主任学芸員、
あいちトリエンナーレ2010コーディネーター（パフォーミング・アーツ））

受講者数：5名 | 期間：2010年7月20日[火]－9月22日[火]のうち15日間

あいちトリエンナーレ2010に関連して長者町エリアにオープンしたアートカフェ「ATカフェ」にて、2つのイベントを企画・制作・運営した。また、トリエンナーレに出演することで出会ったパフォーマーやアーティスト、批評家たちによるトークイベント「ボーダレス・カフェ」の制作運営を行った。劇場での活動も多様化していることをふまえて、敢えてカフェを会場とすることで、普及教育的な催しを企画・制作することを目的とした。

企画イベント

- [1] 勝手に描いちゃえ! みんなでデッサン [2010.8.11]
- [2] わたしたちの知らない長者町のおはなし [2010.8.13]

ボーダレス・カフェ

- [1] まことクラヴ、デルガド・フッシュ、ボリス・シャルマツ [2010.9.5]
- [2] 梅田宏明×乗越たかお [2010.9.12]
- [3] コンタクト・ゴンゾ、ヤン・ファーブルカンパニーメンバー、ティム・エッチェルス&ヴァラトゥカ・ホルヴァ [2010.9.18]



あいちトリエンナーレ 2010

パフォーミング・アーツ

小ホール・大ホール公演

及びワークショップ現場体験

[講師] 劇場公演：唐津絵理(愛知芸術文化センター愛知県文化情報センター主任学芸員、あいちトリエンナーレ2010キュレーター(パフォーミング・アーツ))、山口佳子(あいちトリエンナーレ2010アシスタントキュレーター(パフォーミング・アーツ))、NPO法人アルファルファ代表)、岩佐暁子(あいちトリエンナーレ2010アシスタントキュレーター(パフォーミング・アーツ))

ワークショップ：長谷川公次郎(C.T.T名古屋事務局)

[受講者数] 劇場公演：4名 / ワークショップ：1名

[期間] 劇場公演：2010年8月25日[水]–10月31日[日]のうち38日間

ワークショップ：2010年8月25日[水]–27日[金](3日間)

あいちトリエンナーレ2010のパフォーミング・アーツ劇場公演およびワークショップの舞台裏を体験した。講座終了後、受講者が公演制作全般に、より積極的・自発的に関われることをめざし、各受講者には、講座期間中、各自のスケジュールに合わせてできるだけ長時間継続的に、おもて・裏方・アーティストとのやりとり・広報対応などの制作現場の体験を積んでもらった。



あいちトリエンナーレ 2010

パフォーミング・アーツ

まちなか公演 現場体験

講師：藤井明子(愛知芸術文化センター愛知県文化情報センター主任学芸員、あいちトリエンナーレ2010コーディネーター (パフォーミング・アーツ))

受講者数：2名 | 期間：2010年8月14日[土]ー9月20日[月・祝]のうち10日間

あいちトリエンナーレ2010のパフォーミング・アーツまちなか公演から、野村誠・まことクラヴ・コンタクト・ゴンゾによる3つのパフォーマンスのリハーサルおよび公演現場を体験した。劇場とは異なるそれぞれの場所で、リハーサルや公演の準備、アーティストの補助、観客誘導などを体験した。



コンタクト・ゴンゾ公演当日

パフォーミング・アーツ広報体験

講師：亀田恵子 (Arts & Theater → Literacy 代表、舞踊ライター)

受講者数：15名 | 期間：2010年8月16日[月] - 10月31日[日]

あいちトリエンナーレ2010で上演されるパフォーミング・アーツに関する広報活動として、①アーティストへのインタビュー、②公演作品に関するプレビュー(見どころ紹介)、③レビュー(鑑賞後のレポート)、④舞台制作の現場に関するレポートを作成し、愛知芸術文化センター舞台裏ブログ等に発信した。最初にオリエンテーションを行い、その後は講師が、メールにて、受講者から提出された文章を添削指導した。また公演を鑑賞した後、感じたことを言語で表現し合うグループディスカッションも開催した。

愛知芸術文化センター舞台裏ブログ

- ロボット版『森の奥』、公演は残すところあと1日です! [2010.8.23]
- デルガド・フッシュ 日本初の公演が行われます! [2010.9.2]
- ロボット版『森の奥』囲み取材 [2010.9.6]
- 野村誠『プールの音楽会』水音気持ちよかった! [2010.9.10]
- デルガド・フッシュ『桃色のズボンと赤いヌバックの先の尖ったハイヒールをはいて、襟ぐりが緩んだセーターの上に着た空色のウールのロングコート』[2010.9.17]
- まちなかパフォーマンスほかレポート [2010.10.14]

Dance Cube チャコットウェブマガジン ワールドレポート〈大阪・名古屋〉

- 観客の心の中へダイレクトに接触を試みるコンタクト・ゴンゾ [2010.11.10]
- 荷捌き場という劇場ではない場所で繰り広げられたまことクラヴの動き [2010.11.10]



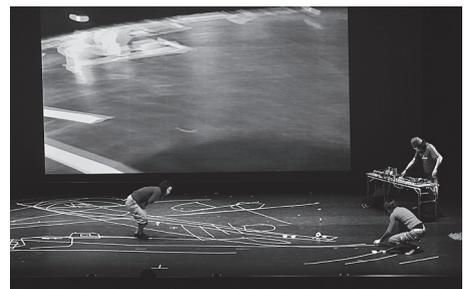
愛知芸術文化センターと「ロボット演劇」記者会見風景

ショーイングイベント 「パフォーミング・アーツ・ガーデン2011」 プロジェクト

講師:上村祐一(リズネット代表)、藤井明子(愛知芸術文化センター愛知県文化情報センター主任学芸員)、
唐津絵理(愛知芸術文化センター愛知県文化情報センター主任学芸員)

受講者数:8名 | 期間:2010年10月5日[火] - 2011年3月1日[火]のうち24日間

愛知県文化情報センターのショーイングイベント「パフォーミング・アーツ・ガーデン2011」の企画を具体化し、広報、制作に携わり、リハーサル、公演の現場を体験した。ひとつのプログラムを作り上げることにより、企画・制作・広報・運営の全体の流れを体験した。催しは、地元で活動する若手アーティストに小ホールなどでの上演の機会を与えるショーイングイベントで、16組の書類選考で選ばれたアーティストが3部構成で公演を行った。続いて1組のゲストパフォーマーがオープンスペースで公演を行った。多数の出演者を迎えての公演の制作・運営は、かなり複雑かつ分量の多い実践内容だった。



「パフォーミング・アーツ・ガーデン」下見・打ち合わせ、公演当日

インターンシップの受け入れ

[1] 舞台技術研修

講師：酒井透(愛知芸術文化センター愛知県舞台運営事業協同組合スタッフ総括責任者)、

森下勝史(愛知県舞台運営事業協同組合 劇場管理運営技術者)

受講者数：2名(名古屋音楽大学3年生および4年生 各1名) | 期間：2010年9月14日[火]ー19日[日](6日間)

劇場の舞台技術およびその運営について、3つの劇場現場で仕事を体験した。舞台・音響・照明の舞台技術全般について学ぶほか、あいちトリエンナーレ2010の大ホールでのオペラ「ホフマン物語」の仕込み・リハーサル・本番、小ホールでのヤン・ファープル「またもげだるい灰色のデルタデー」ダンス公演の仕込み・リハーサル・本番を体験した。

[2] アートマネジメント研修

講師：唐津絵理(愛知芸術文化センター愛知県文化情報センター主任学芸員、あいちトリエンナーレ2010キュレーター(パフォーマンス・アーツ))、岩佐暁子(あいちトリエンナーレ2010アシスタントキュレーター(パフォーマンス・アーツ))

受講者数：2名(名古屋音楽大学3年生) | 期間：2010年9月7日[火]ー12日[日](6日間)

愛知芸術文化センターの劇場での自主企画事業に関する説明の後、あいちトリエンナーレ2010の小ホールでの梅田宏明パフォーマンス・アーツ公演の仕込み・リハーサル・本番を体験した。



小ホール公演仕込み、劇場ロビー